

震災後に十分な議論の時間を持つことができないまま計画が決まった防潮堤建設。三陸沿岸に高さ最大十五メートル、総延長四百キロ、総事業費一兆円をかけて建設するというもの。この計画を再度検証するため、五月二十四日、仙台で首相夫人の安倍昭恵さんが発起人代表となり、「あなたは どう思う?マンモス防潮堤」というフォーラムが開催され、主に宮城県内から約四百人の参加がありました。写真。

いわゆる反対集会ではなく、さまざまな論点から必要性や問題点を出し合い、相互に理解を深めながら、丁寧な合意形成

東北復興日記

94



ファシリテーター
加生(かしょう)
健太朗さん

マンモス防潮堤話し合う

をしていく必要性を確認し合いました。

第一部では、安倍晋三首相や村井嘉浩宮城県知事、増田寛也元岩手県知事の動画が流れたほか、建築家や地元若者による代替案発表、国会議員

による法律・制度面の指摘が行われ、特に増田元知事の「人が住まなくなる地域に建設される防潮堤はいったい何を守るのか?」という意見は重要な論点でした。

第二部では、反対運動があった徳島県・吉野川の河口堰建設での住民投票や、広島県福山市の鞆の浦での埋め立て架橋事業の差し止め訴訟の例などを共有し、公共工事の合意形成に関する見識を広げました。

第三部では、宮城県気仙沼市小泉地区に約二百二十億円を投じ、住民が高台移転するにもかかわらず建設される防潮堤をテーマに、第三者の進行で国や県、市議会議員、住民、学識者による円卓会議を実施し、議論を深めました。



あなたはどう思う?マンモス防潮堤
みんなの思いをカタチにする対話フォーラム in 仙台

円卓会議
テーマ:気仙沼小泉地区の問題解決に向けて
グローバル経済大学院 学長 佐藤 隆 氏
ミチレーン 総務人 様 国際部 今川 啓 様
小泉地区復興推進委員会 委員長 藤田 浩二 氏
宮城県議会議員 相沢 光雄 様
気仙沼市議会議員 三浦 友幸 様
気仙沼市議会議員 及川 晋賢 様
気仙沼市議会議員 茅田 政宗 様
宮城県議会議員 島山 和純 様
宮城県議会議員 横山 英英 様
九州大学大学院 湯野 聡子 様

最後にアンケートシス

この連載は、東京のNPO法人JKSKと、被災地の女性たちが協力して復興に取り組む「結ぶプロジェクト」の協力を得て、掲載しています。